

スクリーニングの手順

記載の有無 **あり**
表紙 に反映されます

病院名: 独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

期間: 平成26年9月1日現在

スクリーニングの項目、対象、方法、タイミング、スクリーニングした結果の確認者、スクリーニング結果の活用方法等についてご記載ください。

役職等に個人名が記載されていないことをご確認ください。

このシートに貼付することが難しい場合、ファイル名を別紙15とした電子ファイル、別添資料を提出すること。

別添資料の提出有無 **あり** (あり・なし)
ファイル形式 **PDF** (ワード、一太郎、リッチテキスト、エクセル、パワーポイント、PDF、その他)
その他の場合ファイル形式を記載してください。

緩和ケアスクリーニング

外来時(がん治療、療養目的で入院する方へ)

外来診療を担当される先生
治療や症状緩和を進めていくのに、チームに関わってもらうことをご説明ください。

【説明例】
当院ではがんサポートチームというチームがあり、これからの治療のうえで生じる、がんに伴う様々な問題の解決を一緒にしてもらいます。詳しいことは、この後の入院の説明の時に看護師に聞いてください。

文書作成から緩和ケアチームへの報告書・連絡書・届出書のスクリーニングについては、医療秘書の方へ依頼し、これまで通り、報告をお願いします。(資料1)

外来担当看護師
入院前オリエンテーション時、チームのパンフレットを渡し、入院後チームのスタッフが訪問することをご説明ください。

入院時(がん治療、療養目的で入院する方へ)

入院後
病棟担当看護師
電子カルテより、該当患者のチーム依頼を入れる(資料2)

チーム担当者
電子カルテから依頼患者を確認後、訪室し、チームの説明
介入承諾得られた時点で介入実施する
介入の同意なければその時点での依頼は却下する
(疑いでの入院は含めない)

医療秘書からの(これまで主治医がされていた)報告についても週に1度各病棟毎にリストアップし、それをもとに病棟スタッフとチーム介入の必要性について相談する。

チーム依頼は患者が介入を拒否されない限り継続される
(実施計画書は入院の都度作成していく)
チーム介入の具体的な方略や目標については、掲示板にのせ、病棟スタッフがわかるようにする。

緩和ケアスクリーニング

病院名： 独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

期 間： 平成 26 年 9 月 1 日現在

【秘書さんにしていただくこと】

資料 1

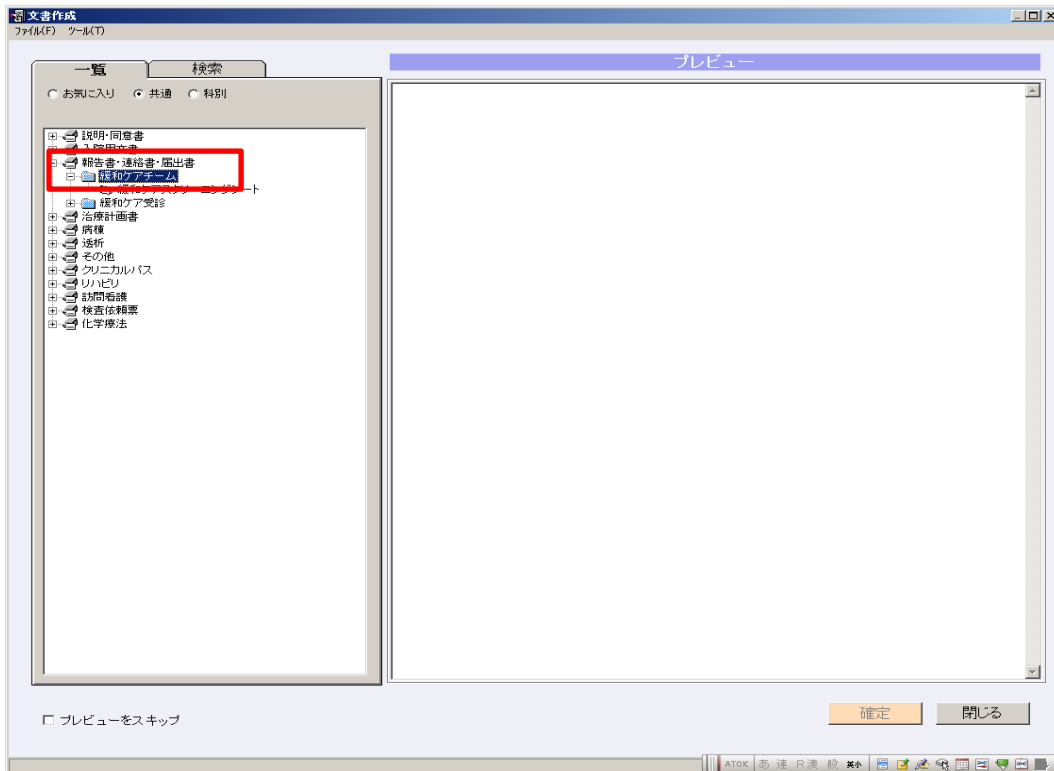
これまで、医師が行っていたスクリーニングチェックをお願いします。

ナビゲーションマップ → 共通 → 文書作成 → 報告書・連絡書・届出書
→ 緩和ケアスクリーニングシート → 悪性新生物であるにチェック → 確定
*がんの疑いの人は含めません。

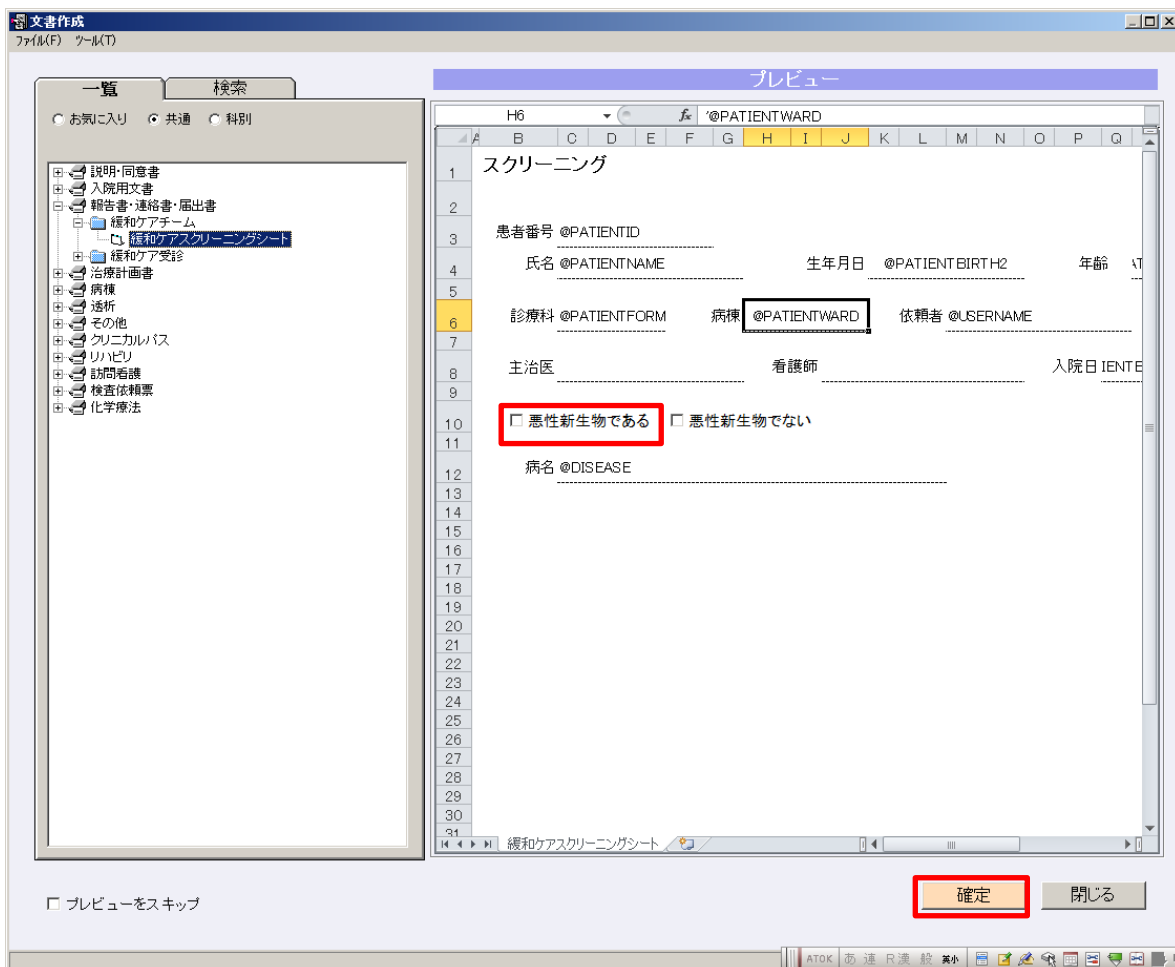
①



②



③



【看護師にさせていただくこと】

資料 2

ナビゲーションマップ → オーダー → 緩和ケア介入依頼 →

各項目チェック → 依頼する もしくは PT 報告のみをチェック → 確定

緩和ケア介入依頼

緩和ケア依頼 依頼日 ▼

患者番号 0009995623 氏名 テスト 1-4-4 生年月日 1950/03/03 性別 男性

科・病棟 総合内科 依頼者名 谷川 あづさ

主治医 本人 看護師 本人 入院日 ▼ 入院 外来

病名 ▼ クリア 初発か再発か 初発 再発
 不明(検査中も含む)

病名告知 あり 本人/家族のみ 本人のみ 家族のみ なし

予後告知 あり 本人/家族のみ 本人のみ 家族のみ なし

入院目的

手術療法 緩和ケア(症状コントロール・対症療法) その他

化学療法 在宅への移行

放射線療法 IVH挿入と指導

精査目的 社会的入院(家族のレスパイトケア) 緩和ケア病棟への入院希望

身体症状

痛み 排尿困難 かゆみ 腹部膨満感

呼吸困難 浮腫 吃逆 便秘

倦怠感 消化管閉塞 意識障害 胸水

発熱 腹水 歩行困難 血尿

口渇 下痢 食欲不振 尿失禁

咳・痰 嚥下困難 吐気・嘔吐 褥瘡

その他

麻薬

オピオイドを使用している (塩酸モルヒネ・アンベック坐薬・オプソ・オキノーム・アブストラル舌下錠・MSコンチン オキシコンチン・デュロテップMTパッチ・フェントステープ・フェンタネスト) 使用していない

今後使用する予定

精神症状

不安 抑うつ せん妄 不眠 眠気

その他

PS状況

PS0 無症状で社会活動ができる。制限無く発病前と同等に振舞える。

PS1 軽度の症状があり、肉体労働は制限を受けるが、歩行や軽労働や座業はできる。

PS2 歩行や身の回りのことはできるが、特に介助がいることもある。軽労働は無理。日中の50%以上は起床している。

PS3 身の回りのある程度のことはできるが、しばしば介助がいり、日中の50%以上は起床している。

PS4 身の回りのこともできず、常に介助がいり、終日臥床を必要としている。

緩和ケアチーム依頼 依頼する PT報告のみ

確定 閉じる